



8月29日、岩村防災連合会に「コミュニティ助成事業」による宝くじ機構の補助金で総額200万円の防災備品が納品されました。

同日、防災連合会の役員全員で、各備品に宝くじのシールを貼り、収納の準備をしました。10月19日には防災連合会役員と地域の方々の協力で、防災倉庫に収納しまし

ふれあいセンターの防災備品が充実 総額200万円分が宝くじ助成金で

- 今回購入したものは、
- イナバ物置(倉庫)
 - ラップポン・トレッカー(水を使わない災害用電動トイレ) 3台
 - プロパンガス発電機 1台
 - 集会用テント 3台
 - パーソナルテント 1台
 - 着替え用テント 3台
 - エアマット 10個
 - 充電ラジオライト 3台
- 過去に購入したものは、
- (非常食などの消耗品除く)
 - 非常用タンカ
 - 50センチ鍋
 - ハンドマイク
 - 今年購入予定
 - 防災ヘルメット
 - 備蓄用の水・非常食 (南国市から毛布50枚も備蓄されています)

(編集部)



公民館の移動学習

さめうらダム下の広場にて

10月8日、岩村公民館の「移動学習」で本山地区の史跡・名勝を探索しました。参加者15名は4台の車に分乗して岩村を出発です。

高速を利用して最初の目的地「杉の大杉」へ到着です。樹齢3000年といわれる大杉の出

現です。先日の台風により中部の大杉を保護している鉄板が剥がれ痛々しい一面も見せていました。高さ60m・周囲20mと高さ56m・周囲16mの2本の大杉は圧巻でした。美空ひばりの記念碑も見学して「川の流れのように」のメロディー

本山へ遠足に行ってきました

吉延の棚田・さくら市など秋気分満載

を聞きながら次の目的地へ移動です。

さあ、吉延の棚田が見えてきました。山間部はちょうど刈り入れ前なので黄金色の棚田が「写真」や「絵画」のように広がっています。「いやきれい、いい時に来たねえ」と飛び交う会話。

地元の人々のボランティアでしようか駐車場と展望台が設置されているのには感動しました。また今、本山口から上ってきた道は、江戸時代、山内のお殿様が約1000人(先発隊・荷物隊

を含めると2000人)のお供を連れて、南国市領石・亀岩から、つながる参勤交代の「北山道」でしたとのお話もしました。

次の「本山さくら市」では参加女性陣の目の色が変わりました。「安い」「安い」と晩御飯のおかずまで買っていました。

戦後最大の女流作家と言われた本山町出身の「大原富枝文学館」の見学です。学芸員の丁寧な説明で、大原富枝の世界が見えてきました。野中兼山の子を描いた「婉という女」も吉野川

の美しい流れ、この土地のぬくもりによって書かれたと言われました。最後に大原富枝の心を現した「茶室」まで特別に案内していただきました。感謝、感激でした。

昼食は汗見川の隠れ秘境、清流が流れる河原です。途中、未だ広シヨツピングで自分が食べた

い、お弁当・田舎寿司・ソーメンなどを各自で購入しての食事となりました。「久しぶりの遠足気分でこりや良い」と清流のにおいが隠し味となり、普段とは違う食事を楽しみました。

最後の訪問地「帰全山公園」は、春はシャクナゲ公園として有名ですが、山内一豊の妹(合姫)を祖母に持つ、野中兼山が江戸時代の初めに、母親(秋田夫人)の墓地として知行地であるここに、開拓・整備したのが始まりでした。今は公園として整備されています。最近オープンした、「モンベルアウトドアビレッジ」の一角のレストランでソフトクリームをいただき、帰路につきました。

(寄稿者・福船 和田真一)

時間に余裕があったので、参加女性陣のたつてのご希望で、急きよ土佐町の「道の駅さめうら」にもより、土佐赤牛肉を買っていただきました。

午後からは「土居屋敷公園」の見学です。今は何もない広場ですが、戦国時代、地元の部将「本山氏」の住居後でもあり、江戸時代にはこの地を治めた「野中兼山5000石」の住居跡でもあり、参勤交代で山内のお殿様が宿泊した場所でもあったのでした。

10月14日、香南中1年生7名(防災調査隊東組)が岩村ふれあいセンターを訪問しました。田所秀二岩村防災連合会会長が、公民館内の防災設備について説明しました。その後、生徒さんからの質問で「ガスコンロやプロパンガスの固定は出来ていますか」と鋭い質問もあり、食料品・水の備蓄も含め、今後改善していくことを約束しました。避難所

香南中1年生が 防災学習で岩村へ



(編集部)

「岩村ふれあいセンター」にとってもいい勉強になりました。

岩村ふれあいセンター 西側の土地を購入 広がる防災公園構想

岩村ふれあいセンター西側の土地(現在は田んぼ)の駐車場・公園・防災倉庫化(防災公園構想)が徐々に進んでいます。今年9月に二人の地権者と南国市との購入が終わりました。

現在窓口になっている危機管理課のお話では、ふれあいセンター駐車場の西側のフェンスは取り除き、そこから車が進入できる方向で考えているそうです。後ほどのような形態にするか、地元の意見も取り入れて、まとめていきたいとの事でした。

地区住民の皆さんも、この土地の有効活用を考えてみてください。

(編集部)